

伊勢道多気ヴィソンスマートインターチェンジ開通及びヴィソン施設オープンによる町道「国道インター線」の渋滞対策について

多気町内に、日本最大級商業リゾート施設「VISON」（ヴィソン）が令和3年4月末日にオープンとなり、合わせて、高速道路（通称 伊勢道）多気ヴィソンスマートインターチェンジ（SIC）の開通も行われました。

この頃は、新型コロナウイルス感染対策が強化される中での施設のオープン、NEXCO初の民間直結型スマートインターチェンジの開通でした。

それらのこともありながら、ヴィソンの施設内道路及び町道「国道インター線」も一部渋滞は発生致しましたが長時間に及ぶ渋滞ではなかったため、特に問題にはなりませんでした。



（ヴィソンの全景）

その後は、夏休みの時期には、交通渋滞が発生するであろうと予想し、国土交通省（紀勢国道事務所）や松阪警察署と協議を重ね、国道42号ヴィソン交差点（以下「ヴィソン交差点」という。）の町道側の青色信号時間を夏休みに合わせて25秒から40秒に変更してもらいましたが、それだけではなく、ヴィソンにも渋滞対策を講じるようお願いしました。

グランドオープンから10カ月経過した令和4年のゴールデンウィーク前には、伊勢神宮からの帰り客などが増加し、同年5月3日に町道「国道インター線」が施設オープン後、最大となる1,380mの渋滞長となりました。



(ヴィゾン内の駐車場及び町道の状況、高速道路本線も大渋滞。伊勢方面からの上り線)

渋滞の要因は、高速道路での交通事故とヴィゾンへの来客の増加が重なったことによるものです。

1,380mという、ヴィゾン交差点から多気ヴィゾンSIC入口手前まで渋滞が伸び、もう少しで高速道路本線までその渋滞が出てしまう所でありました。



(ヴィゾン内の町道の状況、多気ヴィゾン SIC を超え高速道路本線まで渋滞が続いた)

この渋滞の通過時間も、多気ヴィソンS I Cからヴィソン交差点までが、2時間弱、また施設内のホテル側の駐車場からヴィソン交差点までは3時間以上を要しました。



(紀勢国道事務所より提供)

この渋滞発生を期に再度、国、警察、町、ヴィソンの4者で協議を行い、渋滞が発生することにより生じる「緊急車両の到着や搬送の遅れ」を重点課題に掲げ、ハード面やソフト面の両面から何度も協議を行いました。

そこで町として、国(紀勢国道事務所)と共同し、町道「国道インター線」の増線を提案し、直接高速道路(勢和多気インターチェンジ)へ通じる車線(専用レーン)を追加し、渋滞の緩和を目指しました。

元々、町道「国道インター線」は、上り下りの1車線のみしかなく、高速道路を利用して帰りたい場合は、多気ヴィソンS I Cから直接乗り入れることが出来ないため、国道42号を経て勢和多気インターチェンジから高速道路に乗り入れるしかありません。

そのため、来客が増加すると、当然、町道も渋滞します。

それらを解消するため「令和5年のゴールデンウィークまでに町道・国道に専用レーンを追加し、渋滞緩和対策の実施」、「施設側は退店時の交通集中の緩和として施設内放送で時間をずらして帰ってもらうように分散帰宅の周知、駐車場や道路の交通警備体制の強化」、「警察は青色信号時間の調整」を4者で共有し期限までに全てが整う様に協力することとしました。

VISON多気 町道右折2車線化

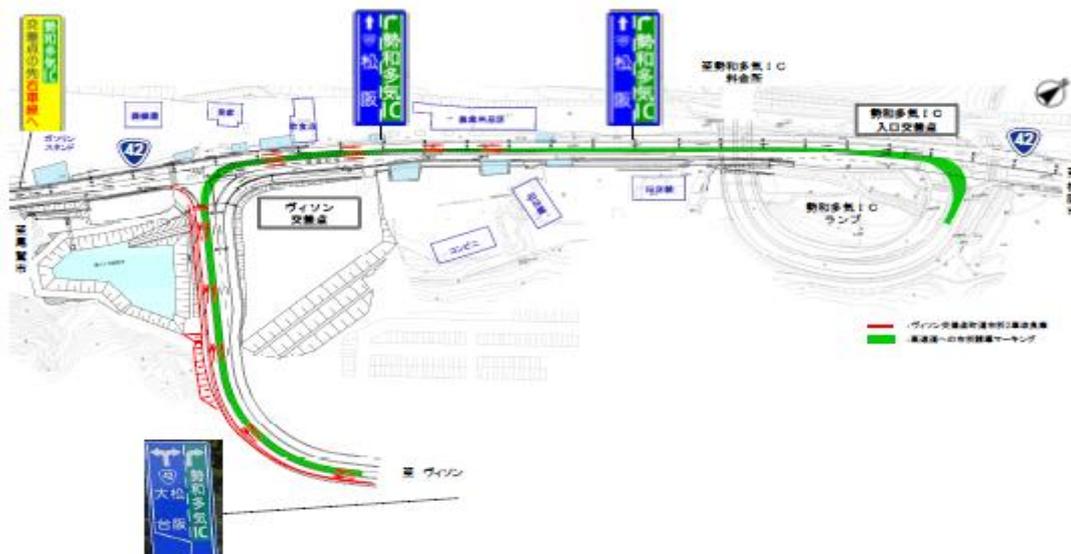
概要

	概要	課題
改良前	・ヴィソン交差点～勢和多気IC入口交差点右折車線間にゼブラ帯	・ヴィソン交差点にて、繁忙期に渋滞が発生
改良後	<ul style="list-style-type: none"> ・町道の上下線側に、右左折レーンを増設する。 ・既存の町道上下線は右折専用レーンとし、ヴィソン交差点～勢和多気IC入口交差点間のゼブラ帯を右折車線運用とする。 ・勢和多気ICへの右折誘導は案内・注意喚起標識、路面標示により行う。 	

(町道から国道への交差点をこの図のように改良施工を行う)

道路拡幅工事は町道・国道それぞれ共同して期限までに完成させ、警察もヴィソン交差点の町道側の青色信号時間を期間限定で通常の40秒から時間制限付きで45秒まで伸ばせるように取り図って頂きました。

町道 国道インター線の渋滞対策について



(路面標示や道路看板をこの図のように設置を行う)

また、今年度中に、町道側にある2車線の右折レーンに車両感知器を取り付け、右折車の交通量に応じて右折矢印の秒数を延ばしたり、短くする運用をすると警察から聞いており、よりスムーズにヴィゾン施設内から国道へ車両を進行させることが出来ると思います。

これらの結果、令和5年5月の1ヶ月間の多気ヴィゾンS I Cの通過台数は1万1千台を超え、5月4日では1日の台数が1千台を超えました。

オープン当時では、令和3年5月の1か月間の通過台数は約8千台でゴールデンウィーク中は、5月2日が最大で1日約600台であったため、約2倍の増加となりました。

渋滞については、ハード面では専用レーンを追加し、ソフト面では帰り時間の分散の周知と交通整理員の体制強化、また青色信号時間の調整により、スムーズに国道42号及び高速道路へ進行させることが出来ました。

ヴィゾン交差点改良写真

■国道側(大台方面から松原方面を望む)
<改良前>



<改良後>



■町道側(交差点からヴィゾン方面を望む)
<改良前>



<改良後>



(工事が完成し上記写真のように道路形態が変更となりました)

また、通過時間について調査した結果は、多気ヴィゾンS I Cからヴィゾン交差点に出るまでの時間が、最大2分43秒、施設内のホテル側の駐車場からヴィゾン交差点までは2分弱となり、1年前のゴールデンウィークとは比べものにならないものとなりました。

2023年5月8日（水）GW中の町道国道インター線渋滞状況確認について

■2023年5月3日（水）の駐車場からの通過時間



通過地点	スタート地点からの通過時間		
	16:00	16:30	17:00
S-1駐車場	0分	0分	0分
A地点	1分00秒	45秒	52秒
B地点	1分26秒	1分21秒	1分24秒
C地点	1分34秒	1分29秒	1分33秒
D地点	1分58秒	1分49秒	1分52秒
E地点	2分40秒	2分35秒	2分43秒

*調査日：2023年5月3日（水）

スマートインター付近の駐車場からヴィソン交差点までの最大経過時間は2分43秒でした。

■各地点の交通状況写真



A地点付近の交通状況（16時50分頃）



B地点付近の交通状況（16時50分頃）



C地点付近の交通状況（16時50分頃）



D地点付近の交通状況（16時50分頃）



国道42号ヴィソン交差点状況（16時50分頃）



国道42号横尾坂方面状況（16時50分頃）

（多気町建設課より提供）

現在では、交通渋滞もなく、緊急車両等もスムーズにヴィソン交差点まで通過できます。

また、ヴィソンも色々と新たな展開を見せており、ホワイトハウスヴィレッジ・バギーパーク（バギー走行体験施設）や食庭ダイニングホール内で行われているアットシェフミュージアム（国内の有名シェフ店が集うホール）など今年の7月24日にオープンし、多数の来客者が見事な料理に感銘を受けて、舌鼓を打っています。

現在、多気町ではヴィソン内で自動運転実証調査を行っており、今後施設内で自動運転レベル4の移動バスによる運行を目指しています。

今後は、薬草のガーデニングなど含めた宿泊施設も設置出来るように考えております。

他にも「ふるさと村」が40年ぶりにリニューアルオープンし、その隣に所在する「花と動物ふれあい広場」も令和6年4月のリニューアルオープンに向けて整備中です。

天啓公園内にふわふわ山ドームを設置し、たくさんの子供たちに楽しんでもらっています。

このようにヴィソン以外にも多気町はみんなが楽しめる施設がたくさんありますので、是非遊びに来ていただきたいと思っております。

令和5年11月28日

多気町建設課 課長 久保義隆